

モデル地区における藻場造成試験実施状況について【網地島地区】

1 試験の概要

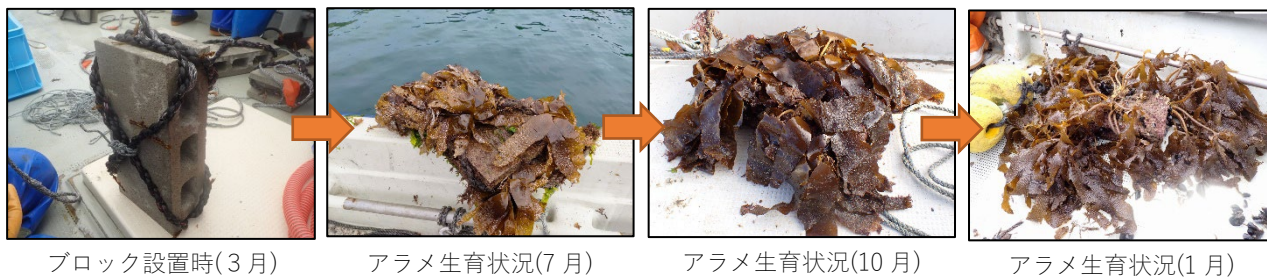
- (1) 事業実施者：網地島振興協議会磯焼け対策部会
- (2) 試験対象種：アラメ（網地島での呼称は“カジメ”）
- (3) 実施場所：①種苗生産…網地漁港内(採苗施設)
②海中飼育…長渡^{ふたわたし}漁港内(垂下式筏)
- (4) 実施期間：R3…令和3年11月11日～継続中
R4…令和4年10月28日～継続中



2 実施状況

(1) 令和3年度採苗群

- ・令和3年11月11日から令和4年2月4日まで陸上で飼育管理を実施し、種系500m分(50m×10枠)の種苗生産に成功しました。
- ・漁港内での仮植期間を経て令和4年3月24、31日に、15mmに生長した種苗をロープ及びブロックに固定し、筏や磯場に設置し、定期的に生育状況を確認しました。
- ・直接磯場に設置したブロックは計測1～4か月でほとんどが消失(食害、強光下での生長障害が原因?)。
- ・筏に垂下したロープ・ブロックは、令和5年1月11日の計測で全長30～70cm程度に生長(1ブロックあたり30～50株)。また岸壁から15m程度の範囲で良好な生長が認められた(波当たり、日照時間が関係しているか?)。



(2) 令和4年度採苗群

- ・10月28日に長渡漁港内から母藻(30株)を採集し、種系1,000m分(50m×20枠)を採苗。
- ・1月11日の観察では、種苗は芽胞^{がぼうほうしだい}胞子体(0.5～2mmサイズ)まで生長していたが、水槽内に多量のカイアシ類が増殖しており、早期海中への設置を検討しております。
- ・沖出し場所は小長渡^{こびたわたし}浜(長渡漁港西側)に筏を設置し、アラメの生育に適した環境を検討する予定です。



3 今後の計画

- ・令和3年度採苗群を磯場に設置し、食害生物から影響を受けずに藻場を形成できるか試験を行います。